



今、あらためて見つめ直すべきこと

PTA会長 塩 冶 隆 彦

県高校総体が終わり、3年生の皆さんは受験に向けた準備を本格化されていることと思います。南高校を卒業後それぞれの進路に向かい、将来は、地域で、日本で、さらに世界で活躍されることを期待しています。そして、生徒の皆さんが活躍する将来の日本は、どのような社会になっているのか。親である私たちは、どのような社会を皆さんに引き継ぐべきなのか。今、真剣に考えなければと思っています。

東日本大震災と福島第一原発事故から3年あまりが経ちました。当時、被災地と原発の惨状を見て、日本の国民は大きなショックを受け、それまでの生き方、価値観を見つめ直したはずでした。しかし、今、あの時に社会のありようを見つめ直したことが、次第に忘れ去られて（忘れさせられて）いるように思います。

そうした時、大きな一石が司法から投じられました。5月21日に言い渡された「大飯原発3、4号機運転差止請求」の福井地裁判決です。私が注目し、共感したのは、判決の結論はともかく、判決理由に示された「日本社会のありよう」への考え方なのです。

判決理由では、「個人の生命、身体、精神及び生活に関する利益は、各人の人格に本質的なものであって、その総体が人格権であり」、「我が国の法制下においてはこれを超える価値を他に見出すことはできない」、「(原子力発電は)経済活動の自由(憲法22条1項)に属するものであって、憲法上は人格権の中核部分よりも劣位に置かれるべきもの」と述べています。非正規労働の拡大、過労死、ブラック企業など、経済活動において「人」が大事にされていない。これ以上の規制緩和で「世界で一番企業が活動しやすい国にする」ことが良いことなのか。企業の経済活動と国民のあるべき関係を示唆する内容ではないでしょうか。

また、「(原発の運転停止による多額の貿易赤字が国富の流出や喪失ではなく)豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失である」とも述べています。人々が毎日働き、ものやサービスを生み出し、家族と安心して生活できる国が豊かな国なのであり、決して、株価や貿易黒字が第一なのではないと言っているように私には思えます。

もちろん、経済の発展、企業業績の向上がなければ生活の向上はありません。しかし、「人」が大事にされない経済社会は、「格差と貧困」の拡大につながり、決して持続せず、そのうち破綻するでしょう。将来、生徒の皆さんが活躍する社会が、もっと「人」を大切にする社会になるように、親として、大人として、今、あらためて見つめ直すべきことがあると思っています。

キャリア教育の取組について

キャリア教育部長 織 部 道 雄

本校はキャリア教育に力を入れています。今年度の教育目標である、『高い志』を抱き、『豊かな心』を持ち、『深い思考』のできる将来社会の一員として貢献していく意欲と能力を備えた生徒を育てる」ことを目指し、全体計画に基づいて様々な取組を行っています。

1 年生き方講座Ⅰ（職業人講演会）



1 年生き方講座Ⅱ（大学教授の講演会）



1 年普通科キャリア教育関西研修（左：阪大研修 中：企業研修、右：Spring8）



1 年先輩と語る会（関西研修）

1～3 年先輩と語る会（教育実習生）

1・2 年東京方面大学見学（東大）



1・2 年東京方面大学見学（東大）

2 年普通科人権ポスター発表

1 年保育園訪問実習



2年理科つくば・東大研修



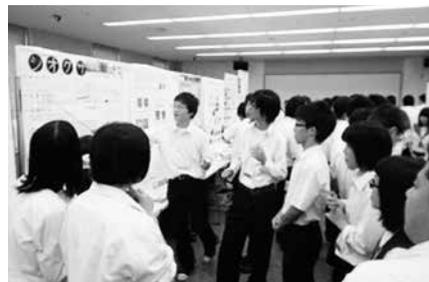
1年理科校外研修「島根半島の地質」



1年理科校外研修「島大医学部」



課題研究（中国・四国・九州大会）



課題研究（校内発表会）



これらの取組を通じて次のような能力が培われます。

○人間関係形成・社会形成能力～コミュニケーション・チームワーク等～

（多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力）

○自己理解・自己管理能力～主体性・ストレスマネジメント等～

（自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力）

○キャリアプランニング能力～学ぶこと、働くことの意義・将来の設計等～

（「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力）

○課題対応能力～情報の理解・論理的思考・プレゼンテーション・計画の立案実行等～

（仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力）

また、自分の将来について考えることや、職業人の話を体験的に学ぶことによって、一人ひとりが明確な目標を持つようになり、学習に対する意欲が強まり、ひいては学力が向上することにも繋がります。

今後とも本校のキャリア教育にご理解、ご協力ください。

進路指導部より

進路指導部長 江田 修 一

①平成26年度入試の振り返り

平成26年度入試は、数学と理科において来年度から新教育課程での入試が始まる境目の入試ということで、受験生の志望動向やセンター試験の平均点、各大学の実質倍率等に注目の集まる入試となりました。

受験生全体が志望大学の難易度を下げて受験する「安全志向」傾向になると予想されましたが、やはり自分の志望は変えたくないという思いから、果敢にチャレンジしていく生徒たちも数多く見られ、思ったほどに安全志向にはならなかったように感じています。本校51期の皆さんも、自分の目標に向かってコツコツと努力を重ね、多くの皆さんが第1目標合格を勝ち取りました。

松江南高校の生徒の約90%前後が国公立4年制大学志望です。その国公立大学に現浪合わせて延べ211名が合格しました。また、現役生だけでみても160名のみなさんが国公立大学合格を手にしています（*地元の島根大学へは、延べ人数で64名の合格者が出ています。この人数はわかっている範囲で全国で一番多い人数です）。211名の合格者数は本校が8クラスになってから最高人数になっていますし、現役合格者数の160名を卒業した人数（301名）で割った「国公立大学現役合格率」は53%となり、島根県内2番目（1番は出雲高校の59.8%です）の合格率となっています。このことは、51期生のみなさんが最後まであきらめずに、最後の最後までコツコツと努力した結果だと思っています。とはいえ、志望している90%のみなさんが全員国公立大学へ進学できたわけではありませんので、今年度もコツコツと努力を重ね、最後の最後まで粘る進路指導を実践していきたいと思っています。

難関国公立大学への合格も北海道大学4名、名古屋大学1名、京都大学1名、大阪大学6名、神戸大学2名、九州大学1名、合計15名という状況でした。

私立難関大学への合格者も多数あり、早稲田大学1名、慶応義塾大学2名、上智大学1名、明治大学2名、法政大学2名、関西大学11名、関西学院大学3名、同志社大学3名、立命館大学8名が合格しています。

また、医学科には鳥取大学3名、島根大学6名、自治医科大学1名、近畿大学1名、合計11名が進学していきました。

②新教育課程入試について

現3年生は、数学と理科が新教育課程になった初めての入試を受けることとなります。センター試験をはじめ、新教育課程に沿って受験の形が大きく変わる初年度ですので、いつも以上

いろいろな情報に敏感になる必要があります。特に大きく変わるのが「理科」です。基礎的な内容を扱う〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕と、より深い内容を扱う〔物理・化学・生物〕とに分かれ、センター試験時にどういった組み合わせで受験するかを選択する必要があります。理科の選択の仕方は全部で4パターンあり（以下参照）、出願時にどのパターンにするか選択しないとけません。目標とする大学に対応した理科パターンをしっかりと把握して出願をしないと、場合によっては受験できないといったケースも出てくる可能性があります。進路指導部から積極的に情報提供をしますので、特に3年生はその情報をしっかりと聞きながら（理解しながら）、自分の受験校の受験パターンを早めに組み立てていく必要があると感じています。

※理科における受験パターン（大学入試センター試験）

- A：基礎がつく科目〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕から2科目選択
- B：基礎なしの専門科目〔物理・化学・生物〕から1科目選択
- C：基礎がつく科目から2科目選択 かつ 基礎なしの専門科目から1科目選択
- D：基礎なしの専門科目から2科目選択

③夏休みについて

本校の夏休みは、1学期の終業式「7月28日」から2学期の始業式「8月19日」の間の約3週間です。ぜひともその夏休みを充実したものにするために以下のことに注意してください。

■いつもと変わらない生活リズム

起きる時間と寝る時間は、学校に行っている時と同じになるよう心がけてください。夏休みになった途端、生活パターンが変わったり（いわゆる夜型生活）、起きる時間が毎日変わったり（生活リズムの乱れ）することがあります。安定した生活リズムを崩さないことが夏休みでは大変重要です。

■苦手科目の克服に努力

1学期は、毎日の予習復習、あるいは各教科からの課題等でなかなか基礎的なことに戻って学習ができなかったかもしれません。ぜひ、夏休み期間に苦手科目に基礎からしっかり取り組み克服に努力しましょう。

■オープンキャンパスの活用

大学受験は、まず自分の目標とする大学を決めるところから始まります（もちろん学力を伸ばすことも大変重要です）。目標とする大学を決めることで、学習に対するモチベーションも高まり、2学期以降の成績向上にもつながると思います。1・2年生から積極的に大学のオープンキャンパスに出かけて、大学について色々知ってほしいと思います。

「無事に学校に行って、帰るということ」

生徒指導部長 本 間 英 之

学期末試験も終わり、間もなく、1学期が終わろうとしています。4月に入学した1年生も多くの生徒が様々な部活に加入し、2,3年生は総体が終わり、「あっという間に7月になっていた。」と感じている人も多いのではないのでしょうか。

保護者の皆様は、どのようにお感じでしょうか。これは、1年生に限ったことではないでしょうが、「我が子が、学校に行き帰ってくるまで心配でしょうがない…。」と思っておられる保護者さんは、そんなに多くはおられないと思っています。私も保護者の一人として、基本は、「今日も何事もなく学校に行き、帰ってくるだろう（いいことがあればいいなあ…。）」という安心感（と期待）のもとに学校に送り出しているからです。

ただし、学校に来れば、「我が子だけが無事ならばよい。」という訳にはいきません。現実には、新年度が始まって以降、登下校中に自動車と接触する事故、あわやという場面があり、苦情をいただいたこと等々、少なくとも6月までは、「事故0件」で済んだ月はありませんでした。市内他校の先生方に聞いても、状況は同じようです。ただ、不幸中の幸いというべきか、大きな怪我につながった事故がなく、軽度の怪我で済んでいる（と思わざるを得ないケースが多い）ため、各ルームでの指導や全校で集まる機会での指導にとどまっていますが、最悪のケースが1件でも起こっていたらと思うと、安心感どころか緊張感や不安感が勝ってしまいます。

心配をしたり、予見できる危険について口うるさく言うのは、われわれ大人の仕事なので、生徒のみんなには、それを認めてもらいたいところです。合わせてお願いしたいのは、「大丈夫だよ。」「心配いらないよ。」と言い切れるだけの行動をとってもらうことです。なぜならば、「万が一」の場面があってはいけないのだから。

悪い予感が当たって嬉しい人は、いません。むしろ当たらなくていい。しかし、高校生をめぐる心配事は、交通事故だけにとどまりません。スマートフォンを所持したことにより、新たな心配を抱えておられる家庭もあろうかと思えます。

生徒のみんなには、先述の「お願い」を責任ある行動につなげてもらいたい。「スマホを持たせてもらっている。」という気持ちがあれば可能なはずです。いずれは自分一人で管理する日が来るのだから、その日のために「道具に使われない自分」を確立しよう。

われわれ大人は、「持たせた責任」を持ちつつ、それを見守りたいと思えます。

夏休みが近づきました。悲しいことや悪いことが誰の身にも起こらず、充実した夏休みになることを願って止みません。ご家庭でも親子の会話の機会を作っていただき、家庭でも充実した時間が増えるよう、お願いいたします。

平成 26 年度 P T A 生活指導委員会

1. 生活指導委員会の活動

(1) 学校との連携

- 生活指導目標の達成に向けての家庭の役割
- 校外における生徒の生活指導
- 情報交換

(2) 各地区での活動

- 交通街頭指導
- パトロール (長期休業中など)
- 通学路の点検
- ボランティア活動の推進

(3) その他

- 松江南高等学校 P T A 生活指導委員会
期 日：6月14日 (土) 14:00~14:50
場 所：松江南高校 記念館
- 松江市内高校 P T A 生活指導協議会
期 日：6月27日 (金) 13:30~15:30
場 所：松江工業高校

- 松江地区生徒指導部教員と P T A 生活指導委員会合同パトロール

期 日：7月26日 (土) 19:30~21:00
場 所：田和山周辺
(集合 松江商業高校駐車場)
当番校：松江南高校、松江商業高校、
緑が丘養護学校
(各高校保護者 1 名、教員 2 名)

2. 松江市内高校 P T A 生活指導協議会の活動

- 当番校を中心に各学校生活指導委員の協力のもとで、前記 1 の (2) を行う。
- 本校の当番地区
…大庭、東出雲、玉湯、宍道の 4 地区
- 上記以外の当番校
松江工…古志原・津田等 3 地区
松江農…忌部・八雲等 3 地区
松江商…乃木・安来等 4 地区

平成 26 年度 P T A 進路対策委員会事業計画

1. 第 1 回進路講演会 (1 学年～3 学年 P T A 対象)

- 目的 最近の大学入試に関わる様々な情報を保護者に提供することによって、子どもたちの進路決定を支援する一助とする
- 日時 3 年生保護者対象
7月5日 (土) 10:00~11:30
2 年生保護者対象
7月5日 (土) 13:30~15:00
1 年生保護者対象
7月12日 (土) 10:00~11:30
- 場所 松江南高校 記念館ホール
- 講師 1 年生：教頭 熊谷 修山
2 年生：進路指導部長 江田 修一
3 年生：進路指導部長 江田 修一

2. 第 2 回進路講演会 (3 学年 P T A 対象)

- 目的 目前に迫った子どもの受験を保護者としてサポートするための参考とする
- 日時 11月1日 (土)
* 3 年学年 P T A 開催に併せて
- 場所 松江南高校 記念館ホール
- 講師 51 期生保護者 2 名
：受験生を持つ親の心構えについて (武田様(旧 3 R)、和田様(旧 8 R)のお二人を予定しております)
進路指導部長 江田修一
：今からの受験対策について

3. 土曜日補習

- 主催 松江南高等学校 P T A
- 趣旨 生徒の「確かな学力」を育成し、「自己実現」と「進路希望」を達成するための学習契機並びに学習条件の整備をする
- 対象 1～3 年生
- 期日 6 月～3 月までの土曜日
1・2 学年計 11 回、3 学年計 4 回

1.2.3年	9/13	11/8	12/13	3年	7/12			
1.2年	6/14	7/5	10/18	12/6	1/17	2/7	2/14	3/7

- 時間 1 限：8:40～9:50
2 限：10:05～11:15
3 限：11:30～12:40
- 教科 1 年生 英・数・国
2 年生 英・数・国
3 年生 地歴・理科

4. 記念館開放

- 趣旨 休業日に記念館を開放し、生徒に自学自習の習慣を確立させ、確かな学力の定着と進路希望の実現をはかる。
- 実施日

5月	6月	9月	11月	12月	1月	2月
5/10	6/21	9/20	11/22	12/28	1/11	2/21
5/11	6/22	9/21	11/23		1/12	2/22
5/15	6/28	9/23	11/24			2/26
	6/29	9/27	11/29			
		9/28	11/30			

(計 23 回)

- 対象 全学年生徒

平成 26 年度 P T A 施設改善委員会 施設設備概要

今年度の実施計画は下表のとおりですが、10月18日（土）の第2回委員会において学校施設改善委員が校内の施設状況を視察し、施設設備の整備等が新たに必要と認められる事項について対応を検討することとしました。また、昨年度の委員会において検討が必要と確認された「普通教室のエアコン整備」「記念館の耐震対策」「安全確保の視点からのグラウンドの照明設備対策」について検討を進めることとしました。特に、普通教室のエアコンについては来年度の総会において整備について決定できるよう検討することとしました。

部・科名	整備内容	整備理由	金額(円)
地歴公民科	○最新公民複製資料	よりわかりやすい授業を行うための教材の整備 (通常の高校の整備水準を超えた教材整備)	51,840
理科	○超音波洗浄機	授業に必要な機材の整備 (通常の高校の整備水準を超えた機材整備)	68,250
音楽科	○グロッケンシュピール	授業等で使う楽器の整備 (通常の高校の整備水準を超えた教材整備)	2,060,000
	○オーケストラ・チャイム		
	○アルトクラリネット		
	○A管クラリネット		
合 計			2,180,090

平成 26 年度 研修部活動計画

1. 研修旅行【3年部担当】

期 日：10月18日（土）

行き先：大阪起業家ミュージアム見学

観劇「ライオンキング」

(劇団四季)

2. 会報「あゆみ」発行【2年部担当】

3月3日（火）卒業式 発行予定

編集内容

- ・研修部長巻頭言
- ・独自企画
「南高周辺のパワースポットを知ろう」(仮)
- ・研修旅行
- ・講習会

3. 講習会【1年部担当】

期 日：11月22日（土）

※講師等については、検討中。



P T A 新役員会 研修部